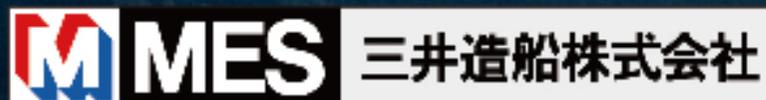


Mitsui Engineering & Shipbuilding



2016年度第2四半期 決算説明会

2016/11/8

**Mitsui
Engineering &
Shipbuilding**

目次

- I 2016年度第2四半期決算概要
- II 2016年度業績見通し
- III 2025ビジョンの実現に向けて
- IV 2016年度第2四半期連結財務諸表

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

2016年度第2四半期 決算概要

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

2016年度第2四半期決算概要

単位：億円

	15年度 2Q実績	16年度2Q		対前年 同期差額
		期初 予想	実績	
受注高	2,116		1,722	△ 394
売上高	3,810	3,700	3,222	△ 588
営業利益 (営業利益率)	△ 9 -(0.2%)	110 (3.0%)	△ 23 -(0.7%)	△ 14
経常利益	24	130	3	△ 21
当期純利益*	△ 11	180	39	50

USD前提レート		110.00	
USD期末レート	119.96		101.12
USD平均レート	120.11		103.75

(参考)
MES単体
売上平均レート「107.40」

*親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

- 受注高は新造船及びエンジニアリング部門の期ズレにより減少
- 売上高はMODECのFPSO建造工事が減少したことにより減収
- 利益面は海洋支援船やエンジニアリングの追加費用により、営業赤字となったものの、固定資産(土地)の売却益により当期利益は前年同期比改善

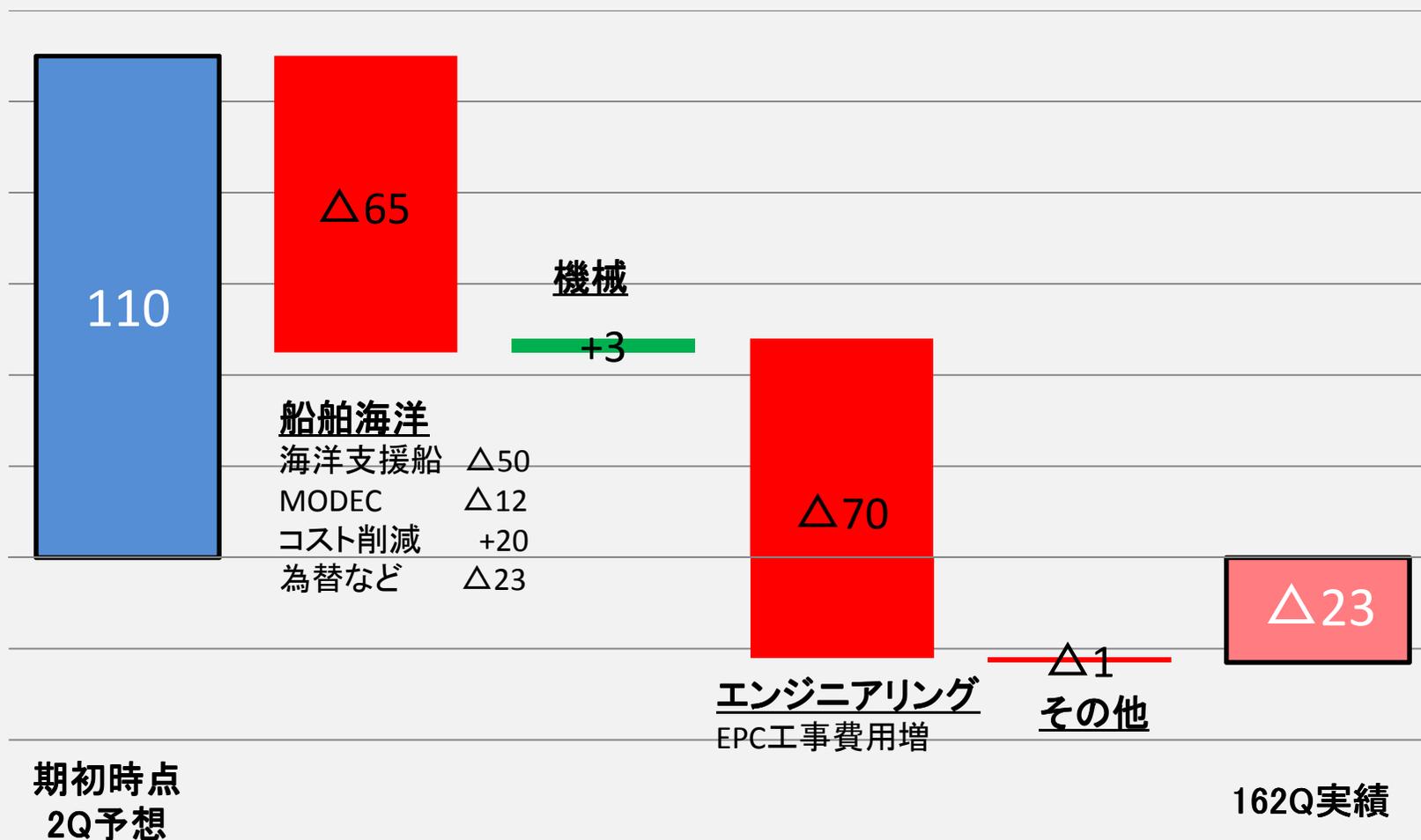
Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

営業利益の変動要因

営業利益予想の変動要因

単位：億円

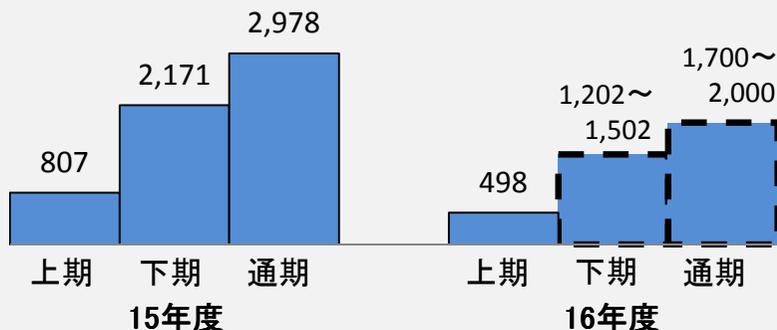


Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

(単位:億円)

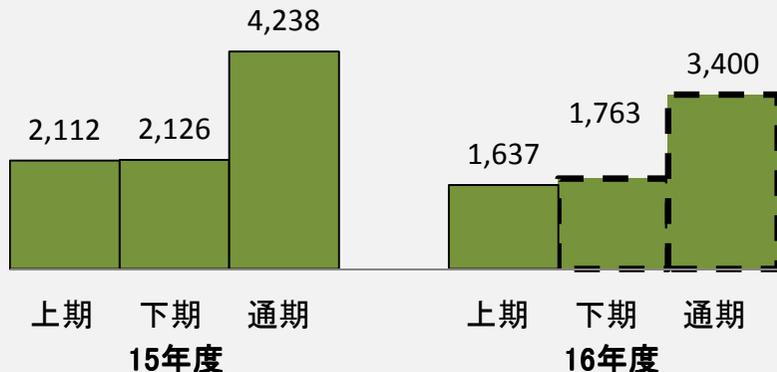
受注高



受注高:対前2Q △309億円の減少

新造船部門では、市況の冷え込みを受けて、第2四半期末までの受注は練習船1隻にとどまり、前期比より大幅減となった。一般商船の受注環境は、世界的な低迷状態から当面脱せず、本格的な回復までには時間がかかると思われる。当社は省エネ船の先行ヤードとして採算改善を行いつつ選別的受注を進めていくが、さらにガス関連の分野に商機を模索し、中小型ガス船、LNG燃料船等への取り組みを加速する。

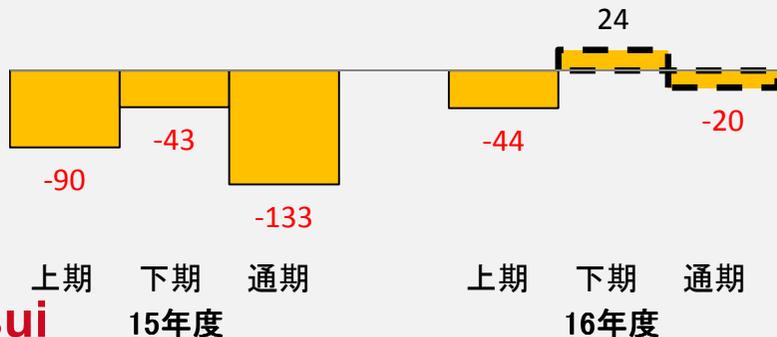
売上高



売上高:対前2Q △475億円の減収

新造船部門では、手持ち工事の効率的かつ着実な建造の積み重ねによって、ほぼ当初の計画通り順調に推移した。一方、MODECの527億円減収により前期比減収となった。

営業利益



営業利益:対前2Q +46億円の改善

低船価船がほぼ一巡したことで、単体では一定の収益が確保できた。新潟造船の海洋支援船は9月に一番船が竣工し、追加費用にも目処がついた。MODECが前年より45億円増益となり、連結では前期比から46億円の改善となった。

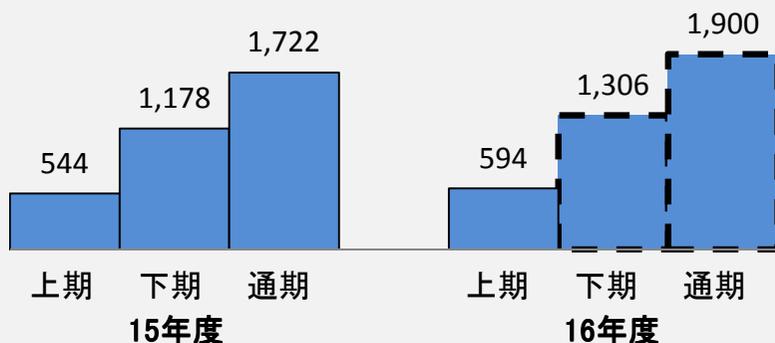
Mitsui

機械

主要製品:ディーゼル機関、産業機械、物流運搬機

(単位:億円)

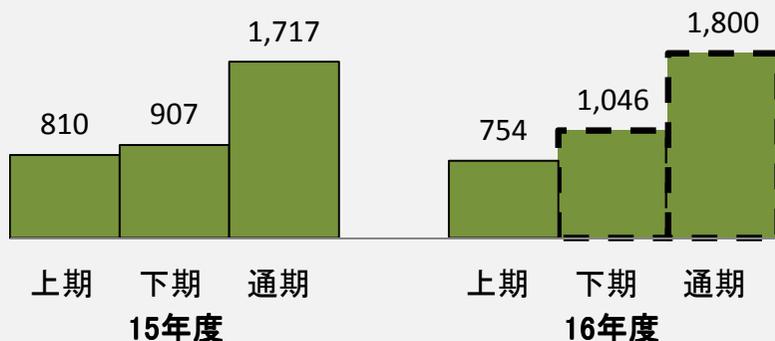
受注高



受注高: 対前2Q +50億円の増加

市況低迷によりアフターサービスが減少したものの、先行き不透明感から契約を早めた船用ディーゼル機関が増加し、前年同時期は低調に推移したコンテナクレーンも増加したことにより、前期比増加となった。

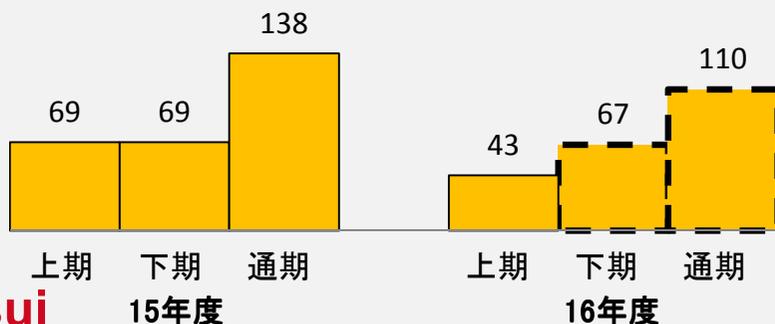
売上高



売上高: 対前2Q Δ56億円の減収

生産馬力数が増加した船用ディーゼル機関で増加したものの、今期は下期に売上が集中するコンテナクレーンが為替の影響も受けて大幅に減少したこと、前期に受注で苦戦した産業機械が減少したこと等により、前期比減収となった。

営業利益



営業利益: 対前2Q Δ26億円の減益

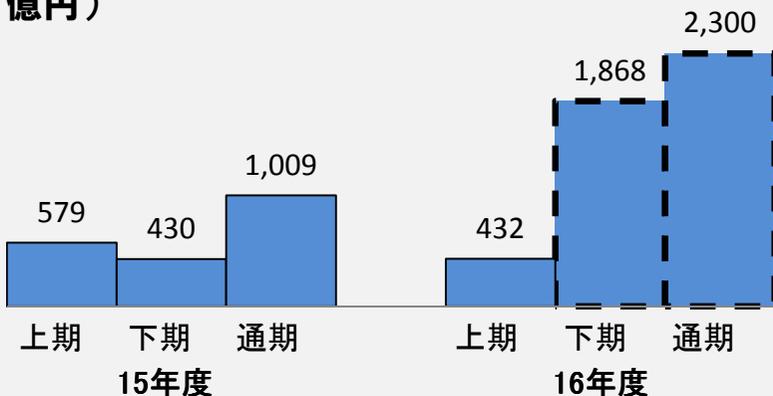
船用ディーゼル機関でコストダウンにより採算が改善したものの、コンテナクレーンで為替の影響、売上高の減少等により減益となったことから前期比減益となった。

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

(単位: 億円)

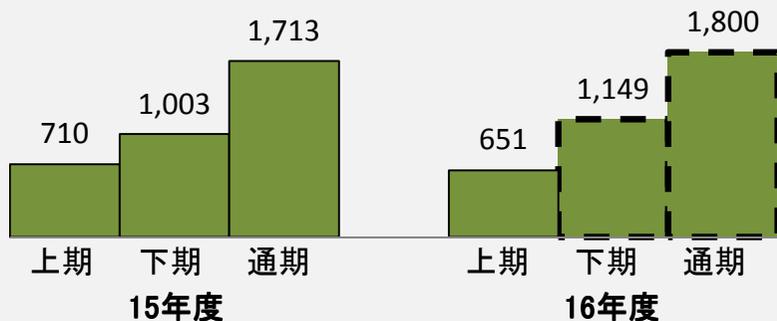
受注高



受注高: 対前2Q Δ147億円の減少

BWSCがモーリシャス向けディーゼル発電プラント建設工事を受注したものの、石化プラント及び海外向け発電土木でプロジェクトが期ズレしたことなどにより、前期比減少となった。

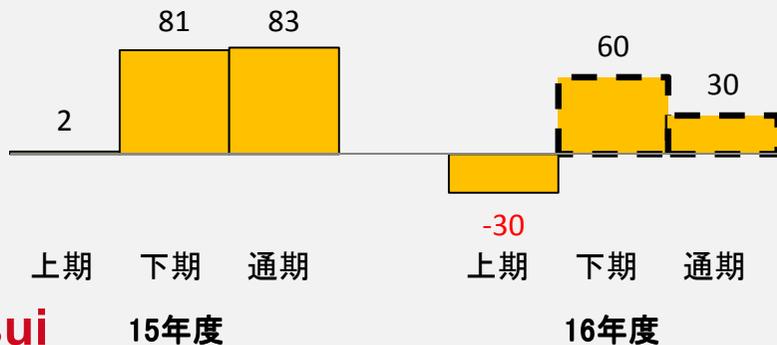
売上高



売上高: 対前2Q Δ59億円の減収

北米向け及びシンガポール向け石化プラントが計画通り進捗したものの、発電土木の受注期ずれ等の影響により、前期比減収となった。

営業利益



営業利益: 対前2Q Δ32億円の減益

シンガポール向け石化プラントやインフラ発電が順調に推移したものの、一部案件で現地工事費用が大幅に増加し、採算が悪化したこと等により、前期比減益となった。

Mitsui

15年度

16年度

2016年度業績見通し

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

■ 為替前提を105円に変更

単位：億円	16年度		増減
	期初予想	最新予想	
受注高	9,000	6,300～ 6,600	△2,400～ △2,700
売上高	7,500	7,400	△ 100
営業利益 (営業利益率)	220 (2.9%)	150 (2.0%)	△ 70
経常利益	270	200	△ 70
当期純利益*	210	140	△ 70
一株当たり利益(円)	26	17	
一株当たり配当(円)	5	5	
USD前提レート	110.00	105.00	

*親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

2016年度見通し

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	16年度 上期 (実績)	16年度 下期 (予想)	通期 上段最新 (下段当初)	16年度 上期 (実績)	16年度 下期 (予想)	通期 上段最新 (下段当初)	16年度 上期 (実績)	16年度 下期 (予想)	通期 上段最新 (下段当初)
船舶	498	1,202~ 1,502	1,700~ 2,000 (4,400)	611	589	1,200 (1,200)	△68	△22	△90 (△40)
海洋 開発	—	—	—	1,026	1,174	2,200 (2,300)	23	47	70 (70)
機械	594	1,306	1,900 (1,900)	754	1,046	1,800 (1,800)	43	67	110 (100)
エンジ アリング	432	1,868	2,300 (2,300)	651	1,149	1,800 (1,800)	△30	60	30 (60)
その他	198	202	400 (400)	180	220	400 (400)	9	21	30 (30)
合計	1,722	4,578~ 4,878	6,300~ 6,600 (9,000)	3,222	4,178	7,400 (7,500)	△23	173	150 (220)

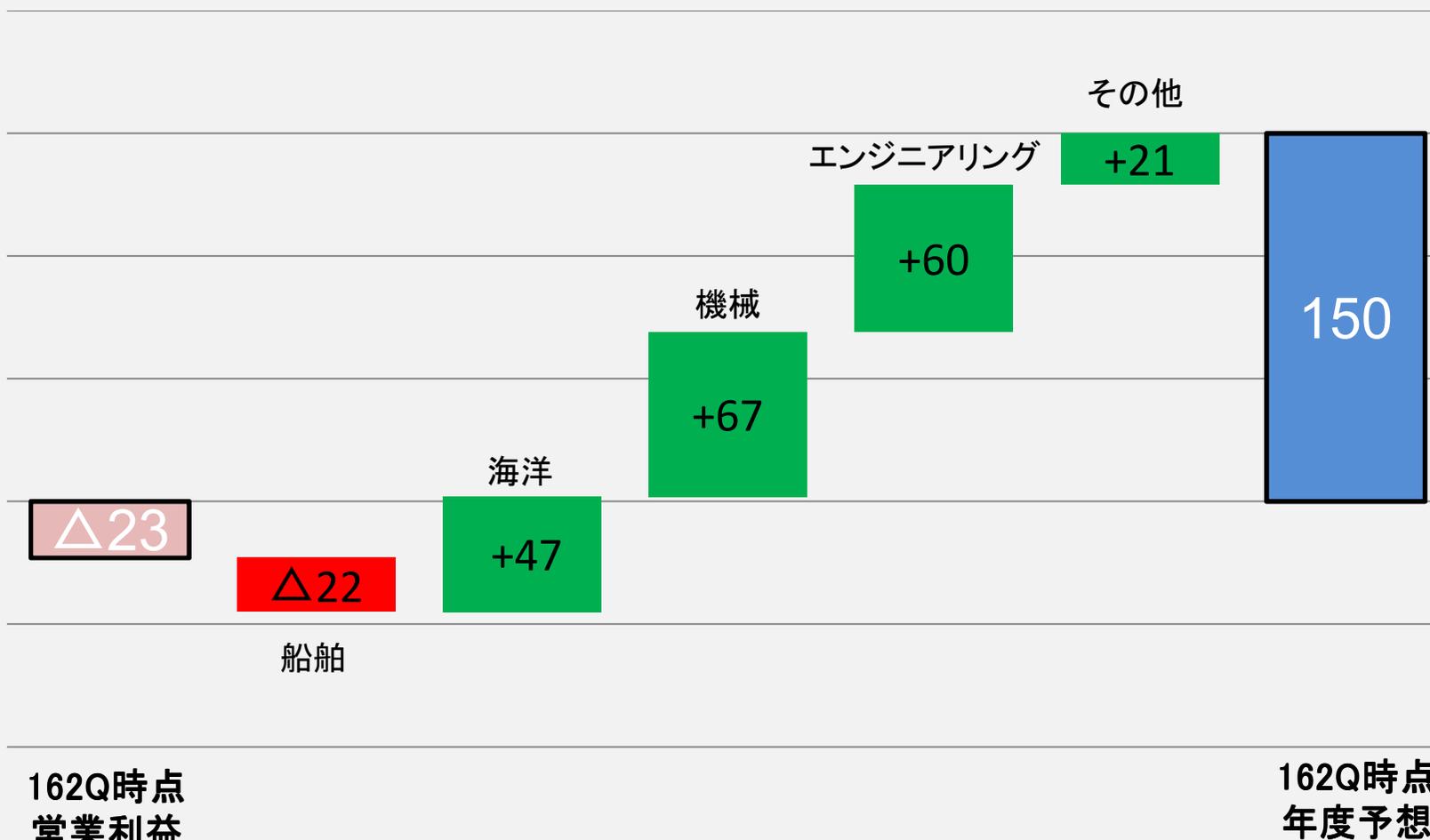
Mitsui

白抜きは変更のあった箇所

**Engineering &
Shipbuilding**

下期営業利益の変動予想

単位：億円



Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

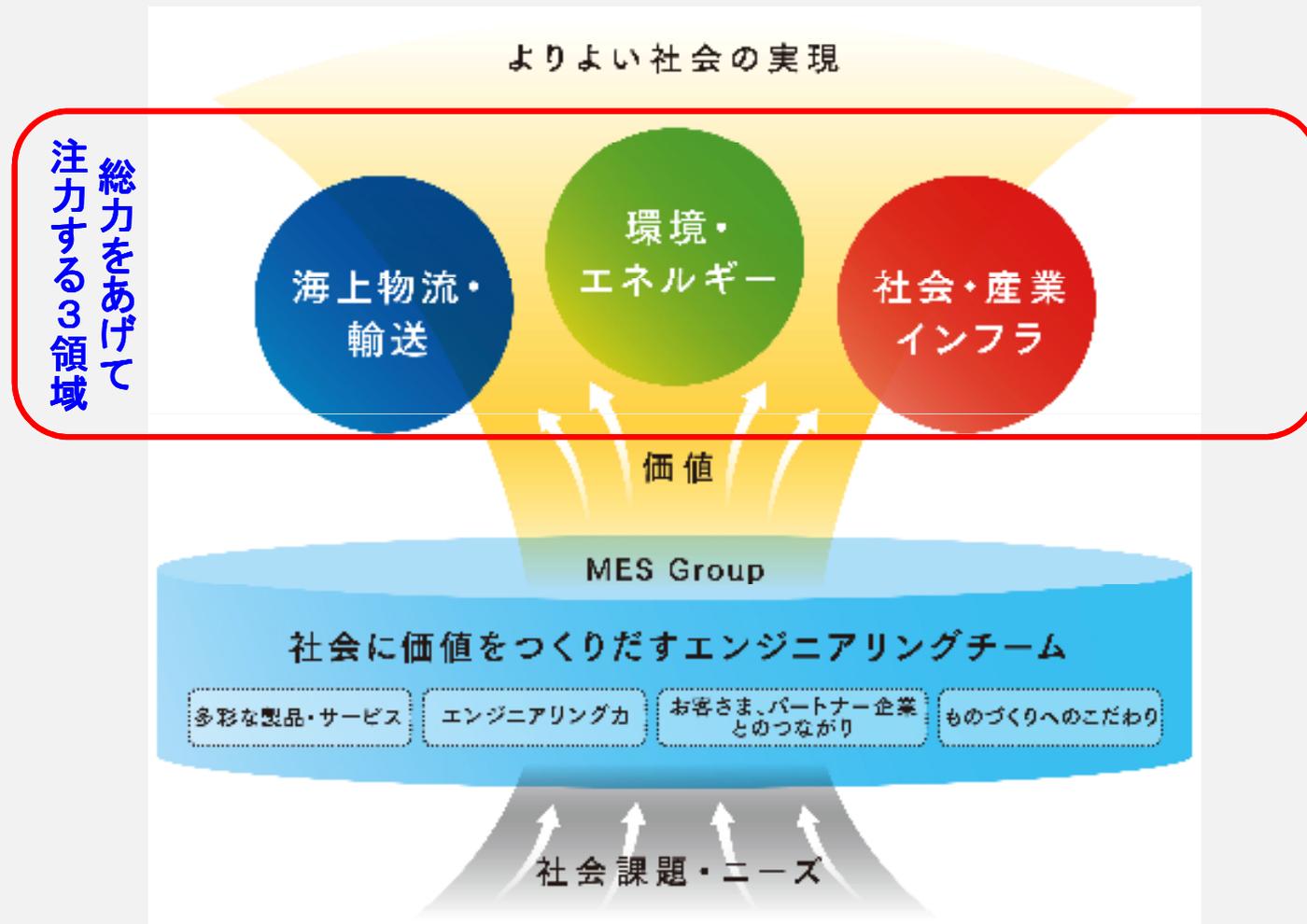
2025ビジョンの実現に向けて

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**



MES Group 2025 Vision



最近のトピックス



マリンエンジニアリングオブサイヤー (ME-LGI)

メタノール焚きME-LGI機関

CO₂、SO_x、PMの大幅削減が可能



世界最大級海洋支援船 1番船引渡し

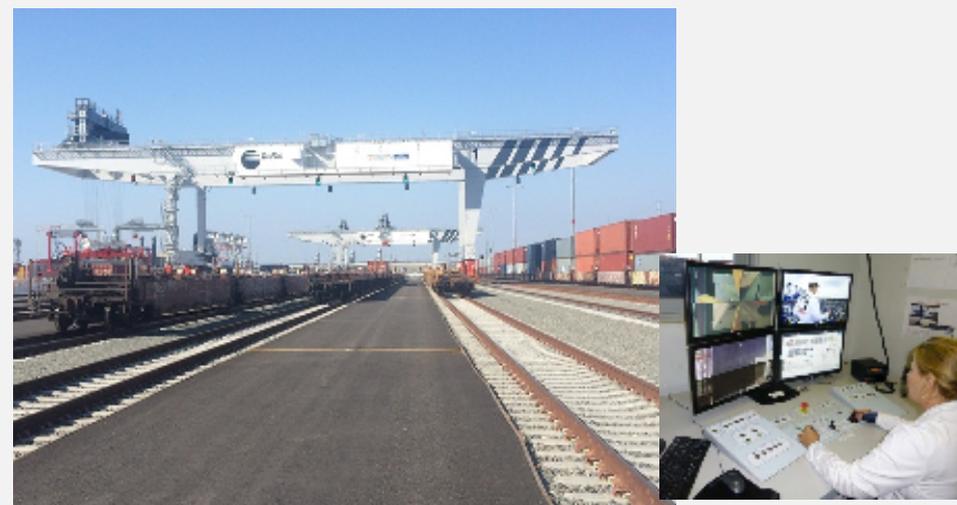


Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

遠隔運転も可能な運転室のない自動運転クレーン納入

米国西海岸初の鉄道自動化ターミナルの実現



最近のトピックス

環境・エネルギー

- 海洋開発・水中機器
- 再生可能エネルギー
- 環境プラント
- 発電プラント

FPSO MV27据え付け完了

MESが船体を建造



低濃度PCB無害化施設受注



MITSUBISHI

Engineering &
Shipbuilding

バイオマス発電引渡し

英国東部向け、40MW(わら燃料)
今後15年間のO&M



最近のトピックス



英国エンジニアリング会社買収

LDPEにおける市場占有率アップ

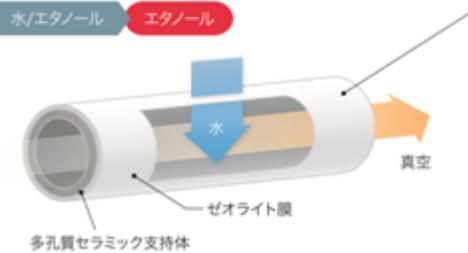
Simon Carves

トルクメニスタン向け硫酸プラント引渡し



三菱化学とゼオライト膜提携

【エタノール水溶液の濃縮例】



水は膜を透過して管内へ分離

潜水艦救難艦の進水



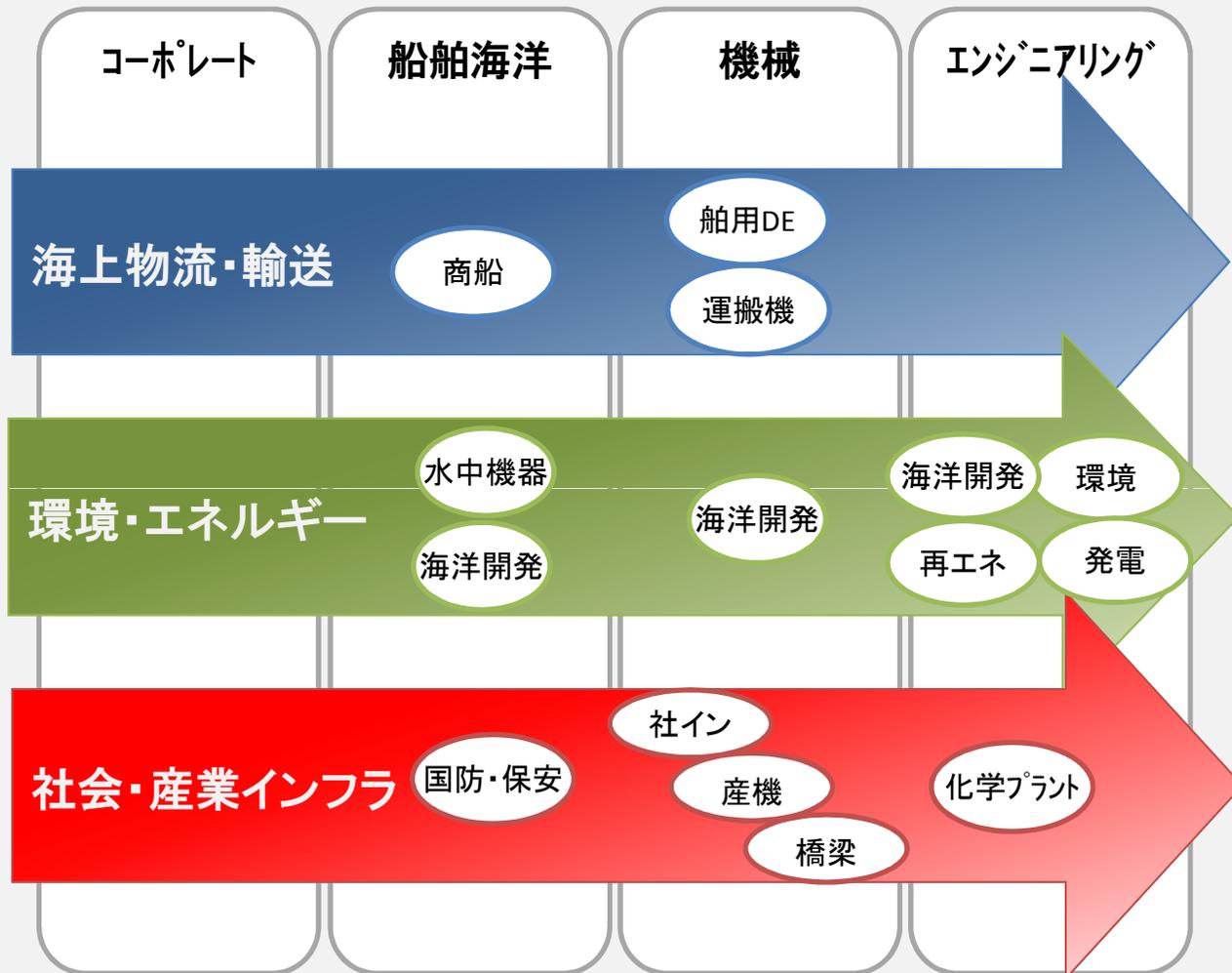
NEXCO東日本より床版取替工事受注



Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

組織の横串機能を強化し、実現に向けて加速



・領域毎のニーズから新たな付加価値(製品・サービス)を創出

・自社製品の組み合わせに捉われず、積極的に外部との協業も推進

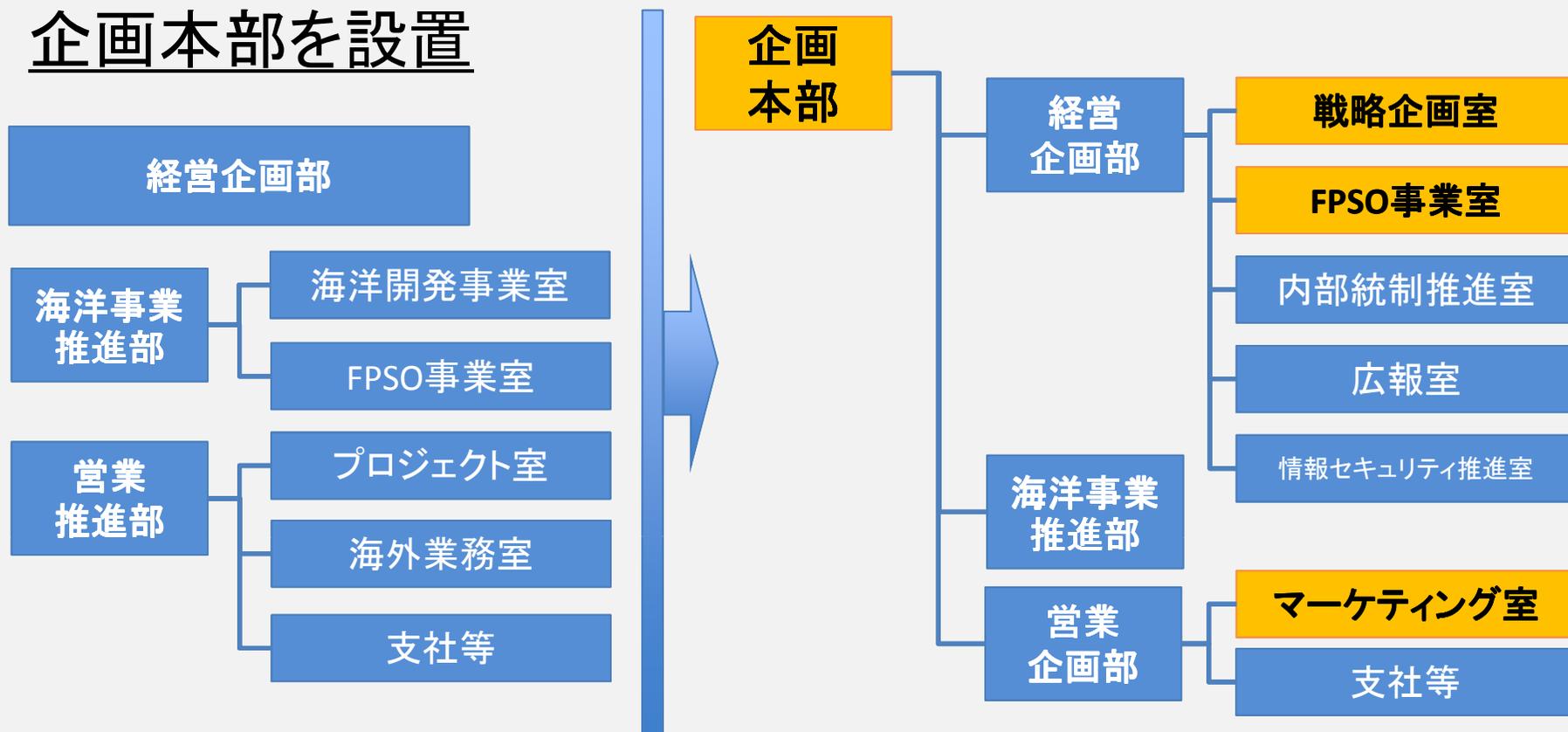
・マーケティング、事業・営業戦略、技術・製品・サービス開発において、各部門とコーポレートの連携を強化

企画機能の強化

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

企画本部を設置



戦略、事業開発、マーケティングの連携で企画力を強化！

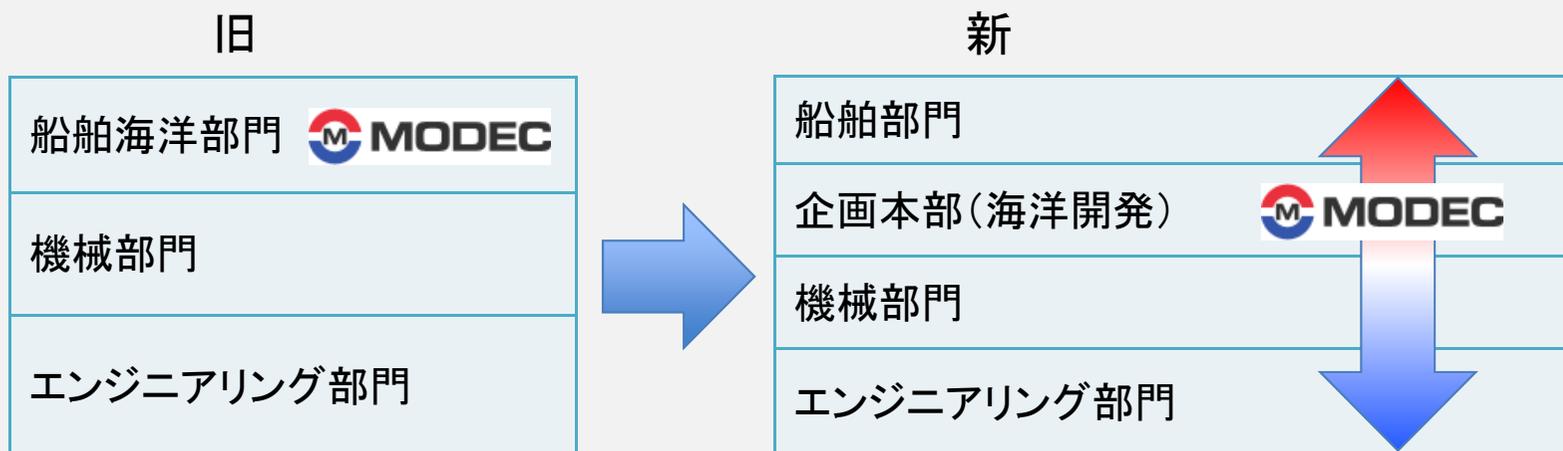
3事業領域ベースでの事業開発を加速！

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

2025ビジョンの実現に向けて

MODECの所管を変更



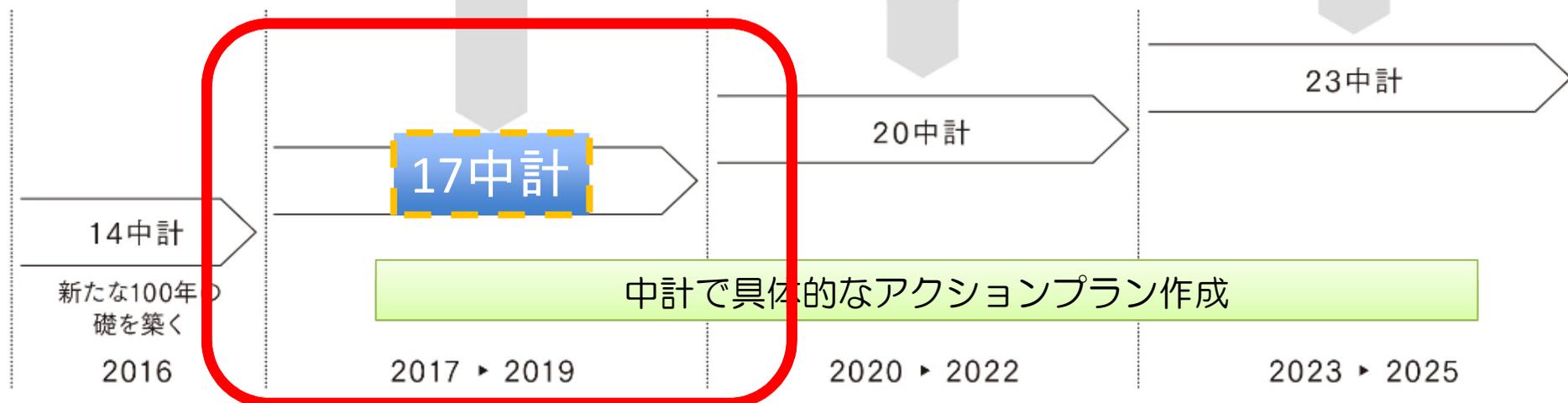
事業開発の加速(海洋開発)



- 海洋事業の規模拡大と収益力向上
- グループの事業ポートフォリオ変革を推進

3つの中計を経てビジョンの実現へ！！

MES Group 2025 Vision



現在策定中
2017年初頭に発表を予定





Mitsui
Engineering &
Shipbuilding

2016年度第2四半期 連結財務諸表

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

連結損益計算書

(単位:億円)

	15第2Q	16第2Q	増減	
売上高	3,810	3,222	△ 588	MODEC減等
売上総利益	222	201	△ 21	
販売費及び一般管理費	231	224	△ 7	
営業利益	△ 9	△ 23	△ 14	
営業利益率	-0.2%	-0.7%	△ 0	
営業外収益	70	83	13	
営業外費用	37	57	20	為替差損等
経常利益	24	3	△ 21	
特別利益	14	170	156	固定資産売却益
特別損失	22	36	14	
税引前利益	16	138	122	
法人税等	44	93	49	
非支配株主利益	△ 18	5	23	
当期純利益	△ 11	39	50	

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

連結貸借対照表

(単位:億円)

	15年度	16第2Q	増減		15年度	16第2Q	増減
現預金	1,394	1,445	51	買掛金	2,456	1,993	△ 463
売掛金	2,824	2,334	△ 490	前受金	844	798	△ 46
仕掛品	338	416	78	受注工事損失引当金	101	170	69
その他流動資産	822	990	168	有利子負債	2,399	2,793	394
固定資産	4,114	4,020	△ 94	その他	1,702	1,655	△ 47
投資その他	1,448	1,448	0	純資産	3,438	3,244	△ 194
資産合計	10,940	10,653	△ 287	負債純資産合計	10,940	10,653	△ 287

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

連結キャッシュフロー等の状況

(単位:億円)

	15年度 2Q実績	16年度 2Q実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 実績	16年度 予想
営業CF	228	1	145	152	298	△400
投資CF	△630	△232	△373	△324	△346	△300
フリーCF	△402	△231	△228	△172	△48	△700
財務CF	363	396	155	△44	482	300
有利子負債	2,088	2,793	1,878	1,883	2,399	2,700
DELシオ	1.0	1.3	0.9	0.8	1.0	1.2
ROIC			6.5%	4.2%	3.7%	
ROE			21.6%	4.1%	3.2%	

Mitsui

* 有利子負債:借入金及び社債

**Engineering &
Shipbuilding**

100

新たな100年の礎を、あなたと。

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

補足資料

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**

補足：子会社、設備投資、従業員数

(単位：億円)

主要子会社

子会社	15年度2Q		15年度		16年度2Q		16年度予想	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上	受注	売上
MODEC	297	1,568	1,888	2,950	194	1,026	—	2,300
BWSC	249	187	474	370	132	187	—	520
昭和飛行機	—	112	—	236	—	89	—	245

設備投資等

連結	15年度2Q	15年度実績	16年度2Q	16年度予想
設備投資	118	160	79	210
減価償却費	86	179	86	—
研究開発	17	50	16	50

従業員数

連結	15年度2Q	15年度	16年度2Q
従業員数	12,668人	12,705人	12,866人

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

補足：主要製品と主要納入先：船舶、海洋開発

新造船

主要製品 = 商船、艦艇、官公庁船、作業船、漁船
 主要顧客 = 国内外船主、海運会社、防衛省、海上保安庁



海洋構造物

主要製品 = FPSO／FSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備／貯蔵積出設備）
 主要顧客 = 石油開発会社



修繕船・その他

主要製品 = 船舶修理・改造、船舶用製品、水中機器
 主要顧客 = 海運会社、防衛省、海上保安庁、公共機関



2016年度2Q 単体新造船受注内訳

(単位：隻)

船種	受注	引渡	受注残
一般商船 (省エネ型 neoシリーズ)	1	5	32
艦船・官公庁船			
合計	1	5	32

Mitsui

Engineering &
Shipbuilding

補足：主要製品と主要納入先：機械

主要製品・主要顧客

ディーゼルエンジン

主要製品 = 船用ディーゼルエンジン等

主要顧客 = 造船所等

産業機械

主要製品 = 圧縮機、送風機、ガスタービン、蒸気タービン、プロセス機器、誘導加熱装置、レーダ検査装置、マニピュレーター等

主要顧客 = 石油精製、石油化学、製鉄、製紙、発電会社、自動車メーカー等

テクノサービス

主要製品 = ディーゼルエンジン、産業機械、クレーンのサービスパーツ、メンテナンス等

主要顧客 = 海運業、石油業界、製鉄業界、海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社等

コンテナクレーン

主要製品 = ポーターナ(岸壁クレーン)、トランスターナ(港湾クレーン)、産業クレーン、CTMS※等

主要顧客 = 海外・国内コンテナターミナルオペレータ会社、製鉄等

※Container Terminal Management System

その他

主要製品 = 陸用/船用非常用発電装置、鋳造品、鍛造品等

主要顧客 = 建機メーカー、鉄道、通信インフラ関連業界、機械メーカー等



Mitsui

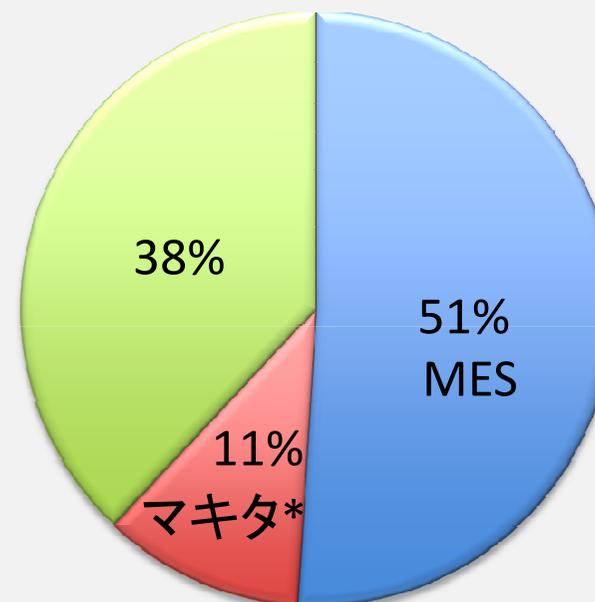
**Engineering &
Shipbuilding**

補足：船用ディーゼル機関

	15年度累計		16年度2Q累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力
受注	170	449	37	70
売上	160 *(7)	298 *(17)	87	159
受注残	159 *(5)	435 *(14)	109	347
生産	181	328	99	186

* ()内数値は、ガス焼きエンジン(GI、LGI)内数

2015年1月～12月
船用ディーゼルエンジン国内シェア



Source: KPデータ(2ストローク機関)

* (株)マキタは当社サブライセンサー

補足：主要製品と主要納入先：エンジニアリング

化学プラント

主要製品 = プラスチック、合成繊維、合成ゴム等石油・ガス化学プラントのEPC

主要顧客 = 国内外の大手化学企業や国営石油会社

インフラ発電

主要製品 = 石炭火力発電所の土建工事、バイオマス発電等再生可能エネルギープラント
および汚泥再生処理等の環境プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 総合商社、国内新電力会社、地方自治体

BWSC(インフラ発電)

主要製品 = ディーゼル発電プラントおよびバイオマス発電プラントのEPCとO&M

主要顧客 = 大手電力会社や独立系発電事業者 (Independent Power Producer)



エンジニアリング受注・売上内訳 (億円)

	15年度2Q		16年度2Q実績	
	受注高	売上高	受注高	売上高
化学プラント	88	310	128	313
インフラ発電	491	400	304	338
計	579	710	432	651

Mitsui

**Engineering &
Shipbuilding**